

視覚障害者のレクリエーションと ボランティアの役割

渡辺文治（神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢ライトホーム）

視覚障害 レクリエーション ボランティア

1. はじめに

視覚障害者のレクリエーションにとってボランティアの果たす役割は大きいといわれている。視覚障害者に対する点訳、録音、誘導、拡大写本などのボランティアの活動自体がきわめてレクリエーション的なものを含んでいる。また、いわゆるレクリエーション活動についても視覚情報を制限される障害者には介助者としての晴眼者が必要となることが多いため、家族以外では最も障害者の生活に密着しているボランティアの果たす役割は大きなものとなる。しかし、ボランティアは年齢や性別に偏りが大きくその活動に制限があるといわれる。本調査では神奈川におけるボランティアグループと実施している視覚障害者に関するレクリエーション活動について調べてみることにした。

2. 調査の概要

目的 … 実際に行なわれている種目とそれを担う人間について明らかにする
 方法 … 郵送によるアンケート調査
 対象 … 神奈川で視覚障害者に関する活動を行っているボランティアグループ80団体
 期日 … 1992年3月
 項目 … 各グループの1992年度の活動（会員数、主催行事、定期的活動、参加した行事、今後の希望など）
 有効調査数 … 58団体（72.5%）

※ 比較のため代表的なグループの年齢構成と利用施設のクラブ活動について調査した。

3) 結果と考察

表1にボランティアグループが行なっているレク活動の回答をまとめて示した。ボランティアグループは本来の活動内容によって①点訳、②録音、③誘導、④混合（点訳・録音・誘導を含む）、⑤その他に分けた。また、レク活動については〈定期〉クラブ活動など定期的に行なうもの、〈主催〉そのボランティアグループが主催するもの、〈協力〉他団体が主催するものに参加するものの3つに分けた。

〈定期〉最も多いのが料理（5）、次が盲人卓球（4）、コーラス・カラオケ（4）、俳句・短歌（3）編物（3）でその他大正琴、ダンスなどである。活動回数はほとんどが月1～2回で23、月1回未満が4、月3回以上が1である。

表2に比較のために県内の視覚障害者の代表的な利用施設で現在行なわれているクラブ

表1 ボランティアグループのレク活動実施数（ ）はグループ内の割合（%）

	定期		主催行事		協力行事			
	クラブ等	なし	交流会	その他	なし	交流会	その他	なし
点訳 19団体	8 (42.1)	11 (57.9)	7 (36.8)	6 (31.6)	9 (47.4)	5 (26.3)	6 (31.6)	9 (47.4)
録音 29団体	5 (17.2)	24 (82.8)	19 (65.5)	5 (17.2)	8 (27.6)	13 (44.8)	7 (24.1)	13 (44.8)
誘導 4団体	1 (25.0)	3 (75.0)	1 (25.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	3 (75.0)	1 (25.0)
混合 4団体	1 (25.0)	3 (75.0)	3 (75.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	3 (75.0)	0 (0.0)
その他 2団体	0 (0.0)	2 (100)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)
合計 58団体	15 (25.9)	43 (74.1)	31 (53.4)	18 (31.0)	18 (31.0)	20 (34.5)	20 (34.5)	24 (41.4)

活動を示した。盲卓球以外のスポーツ関係の種目、ハム・生録音・手作り楽器などの種目に大きな違いが見られる。

〈主催〉全体の60%が何らかの形で行事を主催している。53.4%は障害者との交流会（新年会・忘年会を含む）、31.0%がハイキングなどを主体とした行事を主催している。主なものはハイキング9、バスハイク（4）でその他ダンス・コンサート・料理・陶芸などである。なお、誘導活動を行なっているグループ20団体中18団体（90%）が何らかの行事を主催しており、交流会以外のハイキングなどの活動を12団体（60%）が行なっている。これは誘導が最も障害者の生活に密着した日常的な活動であるため、その要求に応えているということであろうか。

〈協力〉行政や他団体の主催する交流会的な行事（ふれあい～という名称の福祉的な集いが多い）に20団体34.5%、同じく20団体34.5%が身障スポーツ、運動会的なものに、文化祭・コンサートなどに6団体10.3%が参加している。なお、協力について回答無しが24団体41.4%となっている。

表3にグループ別に晴眼者の会員数を示した。なお、アンケートでは年齢構成まで調査できなかったため、団員数が多く、点訳録音・誘導・拡大写本・レクリエーションと活動内容も多様なグループを調査した。平均年齢は男性52.9才、女性55.8才、全体で53.3才である。図1に示すように男性は人数が少なく、比較的各年代に散らばっているのに対し、女性は50代を中心に40～60代で全体の87.6%を占め、男女を合せても40～60代で84.8%を占めている。特に50代以上が65.2%であり、年齢の高い女性が中心となっている。活動内容や地域、男女の比率などからみて他のグループもこの結果と大きな違いはないものと思われる。ここで注目したいのはこのグループで視覚障害者のレクを専門に活動しているレクリエーション部会である。活動も特殊であるが図2に示したように平均年齢35.4才（男34.6才、女36.0才）と若く、男女の比率もほぼ同じで全体の平均とは大きく異なっている。視覚障害者のスポーツに関する活動を行なっている神奈川県視覚障害者競技審判協会の年齢構成をみてもやはり30代、40代の男性が中心であり、スポーツ的なレク活動については比較的若い層の参加が重要なことを示している。

4) おわりに
今回の調査でボランティアが果たしている役割がある程度明らかになった。視覚障害者のレク活動はまだまだ限定されており、今後スポーツ的なものなどあらたな広がりを目指すためには現在あまり参加していない層の参加が必要となろう。

表2 利用施設のクラブ活動

名称	活動日程	回数	会員数(祝)
華道	第1・第3水曜日	月2	14(10)
茶道	第1・第3水曜日	月2	12(7)
コーラス	第1土曜日	月1	30(12)
手作り楽器	第4日曜日	月1	10(7)
大正琴	第1・第3土曜日	月2	14(11)
詩吟	第2・第4水曜日	月2	16(10)
川柳	第1・第3水曜日	月2	15(12)
手芸	第2水曜日・第4土曜日	月2	21(11)
料理	第4土曜日	月1	24(13)
フォークダンス	第1木曜日	月1	42(22)
社交ダンス	第1・3水曜日	月2	22(20)
ハム	毎週火・金曜日		27(27)
音の会		月1	11(11)
ヨガ	第3火曜日	月1	23(13)
球技(バレー)	第3・第4日曜日	月1	20(9)
盲人卓球	第1日曜日・第4金曜日	月2	28(27)
テニス	第4日曜日	月1	10(10)
スキー	不定期		40(22)

表3 グループ別会員数()は男女の比

	晴眼者		
	男	女	小計
点訳 19団体	51 (6.4)	750 (93.6)	801
録音 29団体	53 (5.5)	917 (94.5)	970
誘導 4団体	14 (13.7)	88 (86.3)	102
混合 4団体	22 (9.3)	214 (90.7)	236
拡大 1団体	2 (6.3)	30 (97.8)	32
レク 1団体	17 (45.9)	20 (54.1)	37
合計 58団体	159 (17.3)	2019 (92.7)	2178

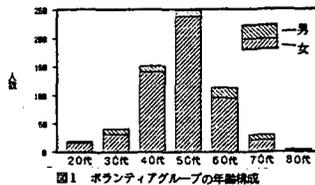


図1 ボランティアグループの年齢構成

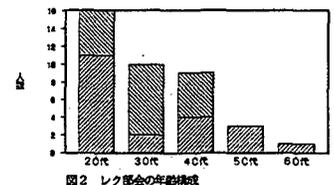


図2 レク部会の年齢構成